

キリスト教結婚式

今やすっかりポピュラーになったキリスト教結婚式。西欧のロマンチックなムードに憧れるカップルも多いことでしょう。でも本来は正式な宗教儀式の1つ。その背景を探ってみましょう。

◆キリスト教結婚式とは？

チャペルで行なわれ、親族の他、友人も参列できる点が特徴。本来は信者でなければ教会婚は挙げられません。最近では信者の紹介や1~2カ月の講習を条件に認めるケースも多いようです。

ちなみにキリスト教では結婚は神の祝福であり、教会で結婚式を行なうとは信仰の一部と考えられています。

◆日本でのキリスト教結婚式の歴史

明治6年に東京麹町の女性が、神田共立学校の外国人教師と結婚したのが始まりと言われています。

◆カトリックとプロテスタントの違い

宗教儀式であるため、カトリック(旧教)とプロテスタント(新教)、その他の宗派により式次第など様々な違いがあります。

| | カトリック | プロテスタント |
|---------|---------|---------|
| 祈りの場所 | 聖堂(みどう) | 礼拝堂 |
| 司祭の呼び名 | 神父様 | 牧師先生 |
| バージンロード | 赤又は緑 | 白 |
| 結婚講座 | 必須 | 教会による |
| 再婚者の結婚 | 死別以外不可 | 理由により可能 |

◆参列者の心得

ほとんどのチャペルでは式次第が渡されるため、それを見ながら進行を把握します。大切なのは拍手は退場の時のみ。誓約は参列者も証人として起立をし、祈祷の時は目を閉じます。またチャペルによっては写真やビデオ撮影が禁じられている場合もあります。

◆キリスト教結婚式の進行例 (プロテスタント)

1. 入場
2. 賛美歌
3. 聖書朗読
4. 祈祷
5. 式辞
6. 誓約
7. 指輪交換
8. 祈祷
9. 宣誓
10. 賛美歌
11. 祝祷
12. 退場

「メデタイ・コム」(小野原秀一、アトリエ・ビュー)

◆信者と一般の式の違い

プロテスタントの場合、信者の結婚式では牧師の説教の時間が多いようです。説教だけで30分ほどの時間を取り、式全体では1時間ほどになります。

また信者の場合、口づけはほとんどしません。

キリスト教結婚式Q&A

Q. ブライダルパーティってなに？

A. 西洋の伝統的な挙式スタイルのこと。かごを持ち花をまく「フラワーガール」、結婚指輪を運ぶ「リングベアラー」、新郎の介添え役「アッシャー」、新婦の介添え役「ブライズメイド」などが式に華を添えます。